

Key word 【ギラン・バレー症候群】 【自動車運転】 【ドライブシミュレーター】

機能訓練サービスの中で自動車運転支援を進めた事例

対象者 50歳代・男性 主診断名 ギラン・バレー症候群 障害名 ー

機能訓練サービス事業所での訓練



- 機能訓練サービス利用開始から1か月後よりドライブシミュレーターでの訓練を開始。
- 当初はアクセルとブレーキの踏み間違いがあり、動作時に目視で確認する様子もあった。
- 8か月程度の訓練で踏み間違いはなくなり、動作スピードも向上。

主治医との情報共有について



- 運転再開、免許更新時には医師の診断書が必要となる。
- 医師との連携が上手くいかないと有期限サービス（1年6か月）の中で実車訓練の確保が難しい。

Point!!

- はじめに訓練を始める段階で、主治医の確認を取っておく。
- ドライブシミュレーターの訓練に慣れた場合、隣で話しかけたり、ラジオを流したりと負荷をかけた状態でトレーニングを行い、運転に問題がないか確認する。
- 障害により、運転にどのような影響が起こる可能性があるかを本人に説明し、説明したことを記録しておくことが重要。